

平成31年度 年間授業計画 (学カスタンダード対象科目用)

教科・科目・単位	公民科・現代社会・2単位	対象学年・組	第2学年・1～4組
教科書(出版社)	高等学校新現代社会(帝国書院)	副教材など	ニュービジョン現社(浜島書店)
教科担任	吉田 知生		

1 科目の目標

年間	①現代の社会と人間について理解を深め、社会の課題について多面的・多角的な視点から主体的に考察する。 ②現代の社会の課題について、自らの生活と関連づけながら主体的に考察し、自分の意見を表現する。		
1学期	中間考査まで	現代社会が抱える課題を様々な視点から捉え、社会の在り方について考察する「幸福・公正・正義」などの枠組みを理解する。	
	1学期末まで	憲法が定める政治の在り方を理解するとともに、民主政治を担う個人の在り方生き方について国家と個人の関係を中心に考察する。	
2学期	中間考査まで	基本的人権を保障する制度を理解し、「個人の尊重」の原理のもと他者とともに生きることについて考察する。	
	2学期末まで	自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と機能を理解し、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。	
3学期	学年末まで	グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の課題を理解し、国際平和、国際協調を推進する上での国際的な組織の役割や日本の果たすべき役割や個人の生き方について考察する。	

2 学習の目標

関心・意欲・態度	現代社会の課題や動向、社会や個人の在り方について興味・関心を持つ。
思考・判断・表現	現代社会の諸課題を様々な資料にもとづいて主体的に考察し公正に判断し、自分の意見を論理的に表現する。
技能	文書やデータなどを適切に読み取ることができ、それを根拠として自分の意見を論理的に表現することができる。
知識・理解	農業の専門知識・技術を習得して上級学校・企業へ進むにあたって、必要な政治的・経済的・倫理的知識を充実させる。

3 学習内容と評価の観点

学期	月	学習内容(単元・指導内容)	評価の観点				時数	備考
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
1学期	中間考査まで	現代社会の諸課題とその捉え方 青年期と自己の形成	現代社会の諸課題を意欲的に考察している。	様々な視点から課題について考察し、表現できる。	資料を用いて適切に課題を見出すことができる。	現代社会の諸課題と、「幸福・公正・正義」といった枠組みを理解している。	7	
	期末考査まで	民主社会の原理と日本国憲法 日本の政治機構と政治参加	自分の意見を生活に位置付けながら考察、表現しようとしている。	個人と国家の関係や個人の権利について考察し、表現する。	民主政治の原理の視点から、社会や制度の諸課題について考察できる。	民主政治の原理を理解をしている。	8	
2学期	中間考査まで	日本の政治機構と政治参加 現代の経済社会と経済活動の在り方	自分の意見を生活に位置付けながら考察しようとしている。	「個人の尊重」を実現する制度の在り方について考察し、意見を表現する。	資料や事例の中から、制度の課題を適切に見出すことができる。	「個人の尊重」を実現する制度とその意義を理解している。	8	
	期末考査まで	現代の経済社会と経済活動の在り方	自分の意見を生活に位置付けながら考察しようとしている。	様々な視点から、立場に合わせて経済活動にける役割について説明する。	経済的な役割や機能を具体的な数値から読み取ることができる。	自由な経済活動に対する、市場経済の役割や機能を理解している。	9	
3学期	学年末考査まで	国際社会の動向と日本の果たすべき役割	他者と協力しながら、社会の課題の発見・解決について考察している。	国際社会での社会や自分の在り方を生活と関連付けて意見を表現する。	他者と協力して課題の発見や解決策を考えることができる。	国際社会の政治や経済の課題を理解している。	10	

4 評価方法 (該当に○)

方法	内容
テスト	1学期(<u>中間</u> <u>期末</u>) 2学期(<u>中間</u> <u>期末</u>) 3学期(<u>期末</u>)
作品法	実習結果 <u>レポート</u> <u>ワークシート</u> 他()
観察法	<u>授業中の発言・挙手</u> など 他()
その他	

5 その他